

目的

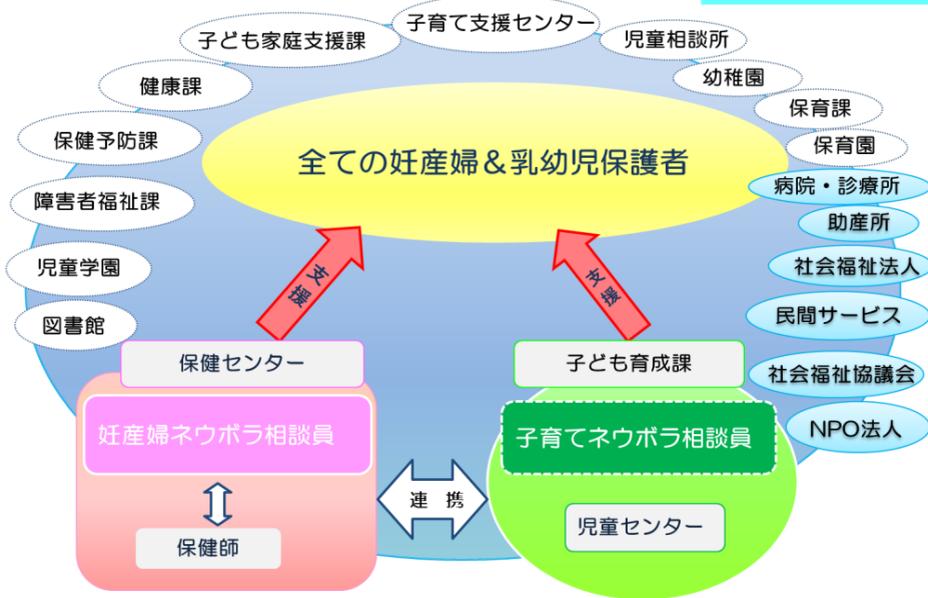
全ての妊産婦と子育て家庭が、安心して妊娠・出産・育児ができる地域社会を創る。

目標

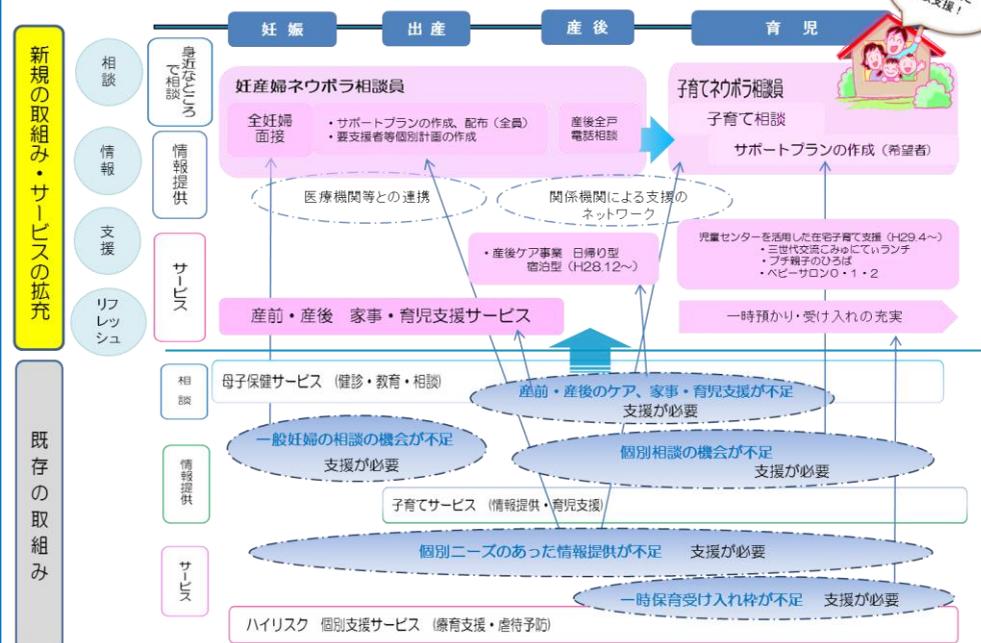
1. 全ての妊産婦と子育て中の保護者が気軽に相談でき、助言や情報提供を受けることができる身近な相談の場を作る。
2. ステージに応じて必要な支援が受けられる、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の仕組みを構築する。
3. 産前・産後の支援や一時預かりなど、これまでの取組で希薄であった支援の実施やニーズの高い事業の拡充を図る。

しながわネウボラネットワーク

イメージ図



しながわネウボラネットワーク全体像



子育てネウボラ相談事業

保健師、助産師、看護師、教員、保育士等の資格を持った子育てネウボラ相談員を対象児童センターに配置する。相談員は、子育て全般の相談を受け、子育て期の育児に関する様々な悩みや不安等に適切に対応する。



大井倉田児童センター 相談室

<相談員配置児童センター>
東品川、大井倉田、平塚、富士見台、八潮

<実績>

※「25館全体」には「子育てネウボラ相談員」の件数を含む

(件)

平成28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25館全体	136	155	189	139	130	223	197	188	153	253	233	233	2,229
子育てネウボラ相談員	75	59	79	72	64	93	93	98	80	128	111	140	1,092

(件)

平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25館全体	180	240	247	199	176	192	190	247	167	—	—	—	1,838
子育てネウボラ相談員	101	139	135	118	92	124	79	102	74	—	—	—	964

産後の家事育児支援の利用助成

心と体のケアに対応できる家事育児支援のヘルパー（区と提携）利用に対して、サービス利用費の一部を助成する。家事育児支援ヘルパーの事業者は、産後の母親に対して、家事育児支援、相談対応、産婦の心と体のサポートなどを行う。



<対象>
出産した方で生後6か月になるまでの乳児を育児中の方
<助成内容>
サービス利用時間1時間につき1,000円（上限20時間）

<実績>

上段：(人) 下段：(時間)

平成28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
申請者数(延)	1	3	2	6	2	5	5	7	2	4	1	4	42
利用時間数	2	21	4	53	20	34	30	63	9	23	10	33	302

上段：(人) 下段：(時間)

平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
申請者数(延)	6	5	10	4	5	5	5	16	7	—	—	—	63
利用時間数	63	44	117	62	45	39	91	188	70	—	—	—	719

しながわパパママ応援アプリ

子育て情報に特化したスマートフォン用アプリ「しながわパパママ応援アプリ」を開発し、平成28年4月からサービスを開始。スマートフォン世代の子育てに対する不安の解消や孤立の防止を図り、切れ目ない子育て支援の環境を整えている。
アクセス数：820,754
(H29.12.31現在)



児童センターを活用した事業

体験児童センター「プチ親子のひろば」

生後1～2ヶ月の赤ちゃんと母親の集う保健センターが実施する「親子の集い」内で、体験児童センター「プチ親子のひろば」を実施。子育てネウボラ相談員の案内等のほか、児童センターの活動を体験する。
実施場所：大井保健センター「みつまたっこくらぶ」
6回実施、参加親子：82組



ベビーサロン0・1・2

児童センター初の0～2歳児親子（プチママ）および妊婦（プレママ）専用の「ベビーサロン」を水神児童センターに整備。「木育」をコンセプトに、遊具等を木製に統一し、木の香りやぬくもりに触れ、赤ちゃんもママもリラックスできる環境を提供する。
1日平均利用者数：33人



三世代交流こみゆにていランチ

子ども、高齢者、在宅子育て中の母親の三世代が一緒に食事をして、世代を超え交流できる場所を提供。
<東大井児童センター>
3回実施、乳幼児：28人、母親：28人
メニュー：炊き込みご飯、冷やしうどん等
<旗の台児童センター>
2回実施、乳幼児：18人、母親：14人
メニュー：肉じゃが、おにぎり等

